

# 『ふろむ・マラウイ』～番外編5 リオンテナショナルパーク～

30th /March/2016 第42号

Muli bwanji ! (ムリブワンジ: チェワ語でこんにちは、ご機嫌いかがの意)

リウォンデ国立公園 (Liwonde National Park) は、マラウイ南部のシレ川上流域の河川東側にある国立公園です。ゾウやカバの生息密度が高く、インパラ、クードゥやウォーターバックなどの草食動物も数多く生息しており、この公園ではほぼこれらの動物を近くで観察することができます。

シレ川流域にあるため、特に河川水位の低い乾期には、ボートサファリが可能で、かなり高い確率で、水浴びに来たゾウの群れに遭遇できます。ボートサファリを楽しめる国立公園は少なく、乾期には動物が川べりに水を求めて集まるので、雨期よりも乾期のほうが、観光客も多いように思われます。動物が観察しやすく、アフリカらしい雰囲気を味わえるので、協力隊員のご家族が視察の旅等でマラウイに訪れた際の観光定番スポットでもあります。



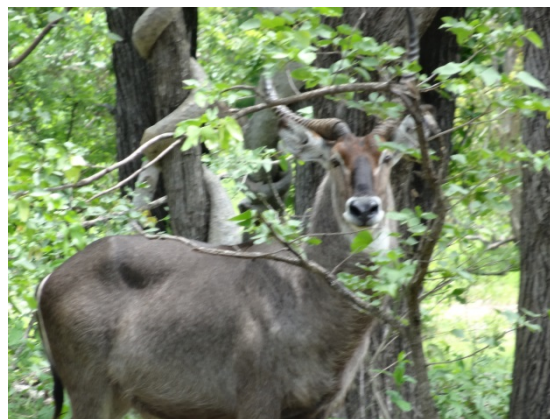
ゾウの群れ(リバー・サファリにて)



カバ(リバー・サファリにて)



イボイ/シシの親子(雨期の内陸地帯)



クードゥ(雨期の内陸地帯)

